

市 町 村	事 業
富 岡 町	1 文化のふるさと推進会議の開催 2 文化団体指導者講習会の開催 3 各種文化教室・講座の開催 4 総合発表会の開催

### (3) 参加する文化活動の促進

#### ① 参加する文化活動補助事業

地方における芸術文化活動の振興を図るため、地域住民が直接参加する芸術文化活動事業を実施する事に対し、その事業費の一部を文化庁及び県が補助して、次の事業を推進した。

補助対象費	補 助 事 業 の 内 容
会 津 若 松 市	1 短歌教室
	2 伝統工芸・漆工教室
	3 七宝焼教室
	4 絵画教室
	5 書道教室
	6 手づくり絵本教室
い わ き 市	1 彫塑講習会及び作品展示会
	2 陶芸講習会及び作品展示会
	3 日本画講習会及び作品展示会
	4 演劇講習会及び発表会

#### ② 福島県高等学校音楽祭

従来まで県高等学校音楽連盟が実施していた「県高等学校音楽学習発表会」を、昭和52年度より県教育委員会が共催して高校生の自由な音楽活動の発表、鑑賞の場として開催した。

ア 期 日 昭和55年7月11日～12日

イ 会 場 いわき市平市民会館

ウ 主 催 福島県教育委員会、福島県高等学校音楽連盟、福島県高等学校教育研究会音楽部会、いわき市教育委員会

エ 参加校及び参加人員

器楽の部 52校 1,680名

合唱の部 54校 2,520名

#### ③ 福島県高等学校美術展覧会

県美術文化振興のため、高校生の美術作品を展示し、その美術活動の振興をはかるとともに美術教育の向上に資するために開催した。

なお、石川県教育委員会等が主催し、文化庁が後援する第4回全国高等学校総合文化祭に、絵画3点が推薦され同文化祭に参加した。

ア 主 催 福島県教育委員会、(財)福島県文化センター、郡山市教育委員会、福島県高等学校教育研究会美術工芸部会

イ 会 期 昭和55年11月7日～11日

ウ 会 場 郡山市公会堂

エ 観覧料 無 料

オ 部 門 絵画、彫塑、デザイン

カ 展示数 272点

#### (4) 芸術文化活動の向上

##### ① 第33回県文学賞

ア 応募数

小説55、詩92、短歌54、俳句54、計 255

イ 審査委員

岩間 芳樹、今泉 壮市、鈴木 満  
大滝 清雄、相田 謙三、小川 琢士  
山本 友一、阿久津善治、太田 光子  
金子 兜太、安達 真弓、藤村多加夫

ウ 企画委員

広沢 康郎、高橋八重子、三谷 晃一  
岡村 史夫、白木 英尾、天城南海子  
鈴木 正治、石川日出雄、新田 八郎  
瀬戸 清彦

エ受賞者数

部門	賞名	賞 格			
		文学賞	準賞	奨励賞	青少 奨励賞
小 説	0	2	2	0	
	詩	1	1	2	1
短 歌	1	2	1	0	
俳 句	0	2	3	1	
計	2	7	8	2	

#### ② 第34回県総合美術展覧会

ア 趣 旨

県内及び県出身者から作品を募集して展覧し、本県美術文化の振興を図る。

イ 主 催

福島県教育委員会、福島県、福島県美術家連盟、在京福島県美術家協会、福島市教育委員会、福島市、(財)福島県文化センター

ウ 後 援

福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ

エ 会 期

昭和55年6月7日～18日

オ 会 場

福島県文化センター

カ 県展運営委員

安部孫一、五十嵐二郎、泉田安治、菅野忠良、佐藤潤四郎、瀬戸清彦、高橋藤園、高橋良一郎、高橋哲夫、照井久良人、中野蒼穹、橋本堅太郎、林泉汀、福田利秋、松井和夫、山川忠義、渡辺到源 (50音順)

キ 県展審査員

(日本画) 安部 孫一、中野 蒼穹、薬谷 耕人  
(洋画) 石山 富彦、梅宮 英亮、大山 美信  
春日部たすく、鎌田 正蔵、久野修男  
松田 松雄

(彫 塑) 伊藤 孝、神野 忠和、佐藤 蔵治  
(工芸美術) 佐藤潤四郎、須藤 紀雄、角田 弘司